

PUBLICATION NUMBER : 05271088
PUBLICATION DATE : 19-10-93

APPLICATION DATE : 27-12-91
APPLICATION NUMBER : 03359875

APPLICANT : NAKANO MASATOSHI;

INVENTOR : SHINDO YASUKO;

INT:CL. : A61K 35/78 A61K 31/00

TITLE : AGENT FOR IMPROVING AND TREATING TISSUE DISORDER CAUSED BY
DERMATOSIS-IMMUNOLOGICAL REACTION

ABSTRACT : PURPOSE: To provide the subject therapeutic agent containing a substance exhibiting a superoxide dismutase-like activity, a phenolic compound and a sugar compound and rapidly improving various dermatosis, allergic diseases, intractable dermatosis, etc., without side-effects.

CONSTITUTION: The objective therapeutic agent contains (A) a substance exhibiting a superoxide dismutase (SOD)-like activity [e.g. the copper (II) complex of a peptide], (B) a phenolic compound (e.g. guaiacol) and (C) a sugar compound such as a glucoprotein or a saccharified flavonoid (e.g. asparatine). The agent preferably further contains an antioxidative ability-having substance such as vitamin C and minerals such as phosphorus and iron. The ingredients A, B and C and the protein-like substance are compounded in SOD-like potencies of 10000-100000 units/l 0.1-5mg/l, 0.1-10mg/l and 0.5-10mg/ml, respectively. When the minerals are further added, the minerals are preferably compounded in an amount of 10-500 mg/l.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-271088

(43)公開日 平成5年(1993)10月19日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 K 35/78
31/00

識別記号 庁内整理番号
ADA J 7180-4C
8413-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全3頁)

(21)出願番号 特願平3-359875

(22)出願日 平成3年(1991)12月27日

(71)出願人 591264186

株式会社ルイボスティージャパン
大阪府大阪市鶴見区今津北4-9-10

(71)出願人 592026783

加藤 邦彦
東京都江東区東陽2-3-16-702

(71)出願人 391058026

中野 昌俊
愛知県知立市新林町茶野36-16

(72)発明者 加藤 邦彦

東京都江東区東陽2-3-11-702

(74)代理人 弁理士 浅野 豊司

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 皮膚疾患・免疫反応による組織障害改善治療剤

(57)【要約】

【構成】 スーパーオキシドジスムターゼ(SOD)様活性を有する物質、フェノール化合物、及び、糖蛋白質、糖化フラボノイド等の糖化合物を含有してなる皮膚疾患・免疫反応による組織障害改善治療剤。

【効果】 ヒトを含む哺乳動物の皮膚炎、イボ、ニキビなどのウイルスまたは細菌性の皮膚疾患、日光皮膚炎などの皮膚炎、およびアトピー性皮膚炎、アレルギー性疾患、難治性皮膚疾患を副作用なく、迅速に改善することができ、また、副作用がないため飲食等により服用し、アレルギー性疾患を根治することができる。

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 SOD様活性を有する物質、フェノール化合物、及び、糖蛋白質、糖化フラボノイド等の糖化合物を含有してなる皮膚疾患・免疫反応による組織障害改善治療剤。

【請求項2】 フェノール化合物がグアイアコール、フェノール、オイゲノール、フェニルエタノール等の群より選ばれた1種またはこれらの混合物であることを特徴とする請求項1記載の皮膚疾患・免疫反応による組織障害改善治療剤。

【請求項3】 糖蛋白質、糖化フラボノイド等の糖化合物がアスパラチン、オリエンチン(ルテキシン)、シスオリエンチン(ルトナレチン)、イソクエルシチン、ルチン、ケルセチン等の群より選ばれた1種またはこれらの混合物であることを特徴とする請求項1記載の皮膚疾患・免疫反応による組織障害改善治療剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、イボ、ニキビなどのウイルスまたは細菌性の皮膚疾患、日光皮膚炎などの皮膚炎、および免疫反応による組織障害(いわゆるアレルギー性疾患)の改善治療剤に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、好中球が病変部に遊走してくる疾患のような炎症性皮膚疾患に対しては、副腎皮質ホルモンの外用剤や抗ヒスタミン剤あるいは抗炎症剤が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、副腎皮質ホルモンの外用剤、抗炎症剤、抗ヒスタミン剤は、部分的に効果があるが、特にアレルギー疾患に関しては効果が明確でなく、また、ウイルス性皮膚疾患や難治性皮膚疾患有効的な治療剤は知られていない。

【0004】また、アレルギー疾患を根治させるには体质改善による方法があり、その際飲食等による方法も行わわれているが、飲食によるアレルギー性疾患を改善する方法は、効果が薄いか、改善に長時間を要し十分効果のあるものは知られていなかった。

【0005】本発明は、前記課題を解決し、各種皮膚炎、アレルギー性疾患、ウイルス・細菌性皮膚疾患、難治性皮膚疾患有効的な改善治療剤を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明者らは、前記目的を解決するために銳意研究を重ねた結果、皮膚炎・免疫反応による組織障害は、体内の活性酸素と関係することを見出し、体内の活性酸素を除去するスーパー・オキシダムターゼ(SOD)様活性を有する物質、かつ、フェノール化合物、及び、糖蛋白質、糖化フラボノイド等の糖化合物を含有する組成物が、皮膚疾患・難

治性皮膚疾患、アレルギー症状を著しく改善治療する機能を有するとの知見を得て本発明を解決した。

【0007】SOD様活性とは、スーパー・オキシダムターゼ活性に類似の活性(生理機能)を有するものを示し、SOD様活性を有する物質として、アミノ酸やペプチドの銅(I)錯体、マンガン錯体、脂溶性アスコルビン酸、ポリフィリン金属錯体、ポリアミン金属錯体等の低分子化合物が挙げられる。

【0008】また、SOD様活性を有する物質の他に抗酸化能を有する物質を含有することが好ましく、抗酸化能を有する物質としては、ビタミンC、ビタミンE、尿酸、グルタチオン、βカロチン、カラターゼ、グルタチオンパーオキシダーゼ等が挙げられる。

【0009】フェノール化合物としては、グアイアコール、フェノール、オイゲノール、フェニルエタノール等の群より選ばれた1種またはこれらの混合物が上げられる。

【0010】糖蛋白質、糖化フラボノイド等の糖化合物としては、アスパラチン、オリエンチン(ルテキシン)、シスオリエンチン(ルトナレチン)、イソクエルシチン、ルチン、ケルセチン等の群より選ばれた1種またはこれらの混合物が挙げられる。

【0011】また、本発明は、リン、鉄、カルシウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、銅、亜鉛、マンガン、セレン等の1種またはこれらの混合物であるミネラルを混合すればより効果が優れる。

【0012】本発明の構成物質はいずれも無毒性のもので薬理基準にも合致したものである。

【0013】本発明は、SOD様活性を有する物質、糖化フラボノイド及びフェノール化合物、また必要に応じて添加される抗酸化能を有する物質やミネラルを含有することによって初めて優れた効果を示すのであり、その構成は、SOD様活性の力値が10,000~100,000単位/1、糖化合物0.1~10mg/1、蛋白性物質0.5~10mg/ml、及びフェノール化合物を0.1~5mg/1、またミネラルを添加するときは、1.0~5.00mg/1含有することが必要である。

【0014】本発明に用いる、SOD様活性を有する物質、糖成分、フェノール化合物は、混合してそのまま溶液、粉末顆粒、錠剤、乳剤、ゼリー状など任意の形態で単独投与、または、他の飲食物に混合して飲食することもできる。

【0015】投与量は、対象となる疾患の種類、程度により異なるが、2~40mg/kg体重/日の範囲で用いるのが好ましく、飲料として常用する場合には、0.1~3.0%溶液を100ml~1500ml/日飲食するのが好ましい。

【0016】

【作用】皮膚疾患はその原因が複雑なものが多く、本発

3

明の詳細な作用は不明な点が多いが、炎症性疾患の場合には、SOD様活性を有する物質がスーパーオキシドリジカル、ヒドロキシラジカルなどで体内の活性酸素を除去し、糖化合物が抗酸化作用を、またフェノール化合物が殺菌作用を有してこれらが複合的に結合して作用するものと考えられる。

【0017】

【効果】本発明は、ヒトを含む哺乳動物の皮膚炎、イボ、ニキビなどのウイルスまたは細菌性の皮膚疾患、日光皮膚炎などの皮膚炎、およびアトピー性皮膚、アレルギー性疾患、難治性皮膚疾患を副作用なく、迅速に改善することができ、また、副作用がないため飲食等により服用し、アレルギー性疾患を根治することができる。また、本発明は従来の薬剤と併用すればさらに良い効果を得ることができる。

10

4

【0018】

【実施例】

製造例

糖化合物として糖化フラボノイド0.1~1.0mg/1、蛋白質0.5~1.0mg/m1、フェノール化合物0.1~5mg/1を溶液状のまま混合し、SOD様活性、抗酸化能として力値20,000単位/g以上となるように調製した。得られた組成物に蒸留水を添加し、組成物が0.1mg/m1(0.01%)以上含有する溶液を得た。

【0019】実施例

製造例で得た溶液を表1に示す各種皮膚炎およびアレルギー性疾患の患者に1日300から500m1を2週間飲ませ、疾患の改善を調べ、その結果を表1に示す。

【表1】

表 1

	症例数	有効	不变
フリー ラジカルが関係しているといわれている疾患			
A 日光皮膚炎	2	2	
B ベーチェット病（再発性口内炎）	2	2	
C ステロイド性皮膚炎	6	4	2
細菌、ウイルス性疾患			
D 尋常性疣（イボ）	8	6	2
E 青年性扁平疣（イボ）	2	2	
F 再発性単純性庖疹（ヘルペス）	3	3	
G 尋常性又は集簇性痤瘡（ニキビ）	7	4	3
難治性で、痒の強い疾患			
H 慢性痒疹	7	5	2
I 紅皮症（湿疹続発性）	1	1	
J 皮膚搔痒症	5	3	2
K アトピー性皮膚炎	5	4	1
合 計	48	36	12

フロントページの続き

(72)発明者 中野 昌俊

愛知県知立市新林町茶野36-16

(72)発明者 進藤 泰子

長野県松本市大村1076-1

THIS PAGE BLANK (USPTO)